

## 歯科矯正用アンカースクリューの成功率に関する実態調査

### 1. 研究の対象

当院矯正科にて矯正歯科治療を受けている患者さんのうち、2015年4月1日から現在までに、歯科矯正用アンカースクリューを植立した患者さん

### 2. 研究目的・方法

歯並びを整える矯正歯科治療において、歯を目的の方向に効率よく動かすために、歯科矯正用アンカースクリューというチタン製の小さなネジが、今日広く応用されるようになりました。初期の研究開発段階から数えますと実に20年以上の期間が経過し、安定した治療成果が得られるようになりました。とはいえ、小さな外科的処置を伴う治療法ですので、今後もより安全な治療に発展していくように、当科で行った治療の結果を評価し、これからの技術向上へ繋げていこうと考えております。まずは2015年4月から5年間に期間を設定して調査を行いますが、引き続き今日に至るまでの調査も行う予定です。結果については当科で共有するだけでなく、広く矯正歯科治療に関わる世界に向けて共有する予定です。日本全国、または世界において、矯正歯科治療を受けられる患者さんの今後より一層安全で安定した治療を行えるように役立てます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

アンカースクリュー植立時年齢、性別、骨格性分類、開咬の有無、使用目的、植立部位、スクリューサイズ、本数、植立術者、即時荷重の有無、脱落の有無、脱落の時期、脱落後再植立の場合は脱落後の間隔、植立後デンタル撮影の有無等

### 4. 個人情報等の取り扱い

この調査は、大阪大学大学院歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室にて行います。調査にかかわる人員は、定期的に最新の教育訓練を受講した当教室の構成員に限られます。情報管理の責任者は、教授：山城 隆、助教：伊藤 慎将です。患者さんの個人情報と切り離された状態で集計したデータの処理を行います。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学歯学部附属病院 矯正科

研究責任者：山城 隆、伊藤 慎将

相談窓口：伊藤 慎将

連絡先：06-6879-2360

-----以上